令和３年９月３日発行
No.３６０

# Shining シャイニング

発行元：社会福祉法人 拓く
TEL　0942-27-2039
FAX　0942-27-2086
http://h-polepole.com

## ９月、「出会いの場ポレポレ」誕生から20年

## 拓くの底力！「肩寄せ合って、もっとワクワクドキドキ！」

２０００年に社会福祉法人「拓く」を設立し、翌年９月、知的障がい者通所授産施設「出会いの場ポレポレ」を開設しました。遡って４月から９月までの半年間を過ごした狭い長屋（借家）に新品の大きなパン窯を入れ、メンバー、スタッフでパン屋開店に向けて必死で練習。昼食はそれぞれ持参した手作り弁当を食べ、トランプやカルタとりなども楽しみ、午後は開所式で披露する曲をみんなで真剣に練習したものです。

２００１年9月1日に開所式。同時に手作りのパン工房もめでたく開店しました。福祉施設として地域に溶けこみたいという思いからお店をつくり、当日は近隣の方々で賑わいました。狭かった場所から一転して、パン作りの作業場は、設備の整った広い場所です。朝5時前から夜中まで仕込みやお店での接客、片づけなどスタッフや保護者の人たちと一緒に働きましたが、ぎりぎりテンパっても決して孤独を感じることはありませんでした。多くの人たちと力を合わせているという実感があったからです。「肩寄せ合ってワクワクドキドキしながら日々過ごす」。それが拓くの底力だったと改めて今感じています。

20年経ち、当時47歳だったわたしは67歳に、ポレポレスタート時からのスタッフである北岡さとみさんや野瀬美紀さんは46歳。まさに法人をリードするときを迎えています。9月１日に催した「ポレポレ２０歳のお誕生日会」はその皮切りとなりました。緊急事態宣言の中、一人一人のメンバーやスタッフが、「もっとワクワクドキドキ」できるように、そして支えてくれた方々に常に感謝の気持ちを伝えていく、そんな地道だけど大切な取り組みが次世代を中心に始まりました。20周年を迎え、今後も困難なことも楽しいことも、皆さんと一緒に「肩寄せ合って」力を合わせて進んでいけたら幸いです。（理事長　馬場　篤子）

## 次の２０年へスタート。

## メンバーさんの人生の節目、一緒に祝っていきたい。

８月３０日はメンバーさんの還暦のお祝い。８月３１日は、作業所時代から数えると勤続３０年になる上村千尋さんの退職。そして、９月１日は「出会いの場ポレポレ」が２０歳になった誕生日でした。この３日間、それぞれに大切な人生の節目を祝いながら、一緒に過ごさせていただきました。２０年という歳月を経て、「拓く」には、大事な瞬間を逃さず一緒に喜び、楽しみ、時に別れも経験しながら、人生豊かに過ごしていけるフラットな関係性が生まれ、何事も完璧ではないけれど、失敗しながらそれも愛きょうだと楽しみ、それを受け入れてゆく広い器と関係性が培われたと思います。

出会いの場ポレポレ　2階

私も野瀬さんもポレポレに勤めて２０年。振り返るとき、ついつい「あの頃は良かったね」と思いがちですが、次の２０年後に振り返ったときに、「みんなで、よくやったな」と思えるよう、法人の歴史や支えていただいている皆さんを大切にしながら、時代の流れに即応する「拓く」を創っていきたいと思います。また、ご家族の介護のために退職された上村さんとも繋がり、新たなカタチでのお付き合いをスタートしたいと思います。

これから、メンバーさんは次々に還暦を迎えます。その人生の節目に立ち会い、寄り添えることは私たちの喜びです。成人式のときのように、ご本人やご家族、スタッフも集まり、一緒に食事をしながらお祝いをしていきたいですね。

新型コロナとの闘いは長期戦。知恵を絞りながら力を合わせて乗り越えていきましょう。　（統括本部長　北岡さとみ）

出会いの場
ポレポレ
食堂

## 人の温かさを感じた20周年

ポレポレの仲間になり、２０年が経ちました。本来ならば、関わった方々とみんなでお祝いがしたかったのですが、コロナ禍でできることを模索し、今回のようなオンラインでの「ポレポレ２０歳のお誕生会」として６か所に分かれての開催となりました。オンラインでみるメンバー同士の中でも、「久しぶり～！」と飛び交う声。ポレポレ内でもなかなか会えない状態だったので、画面越しでの再会に笑顔がたくさん。オンラインだと時間が長いと飽きてしまうので、いろんな方に写真をお借りし、クイズにしたりと参加型にしました。

各拠点では、壁の装飾をそれぞれメンバーができることを形にして作り上げ、ケーキも飾り付けを楽しみながらやりました。記念品のパンは、当初みんなで作り上げていたのを思い出しながら、安倍さんや小川さん、橋本さんを中心に、メンバーも関わりながら完成させました。会の後に、関係者にそのパンを配ったのですが、会って話す温かさ、大切さも感じました。お互いが感謝し、協力し合えるところが拓くの強みだと思います。また、違う形で、みなさんと２０年を共有したいと思います。　（出会いの場ポレポレ　野瀬美紀）

# オンラインでつながった「ポレポレ２０歳のお誕生日会」

子ども達にとって初めてのオンラインで繋がりながらのイベント参加。お昼寝中の子ども達も多い中でのスタートでしたが、色々な方の笑顔や賑やかに飾り付けされた部屋、美味しそうなケーキ等、スクリーンに映る場面をキラキラと目を輝かせながら見ていました。

コロナ禍ならではのお祝い会。同じ時間をそれぞれの場所で共有するという体験も素敵で貴重な時間となりました。これまでのポレポレの歴史に触れる事も出来ましたし、何よりポレポレや夢工房のメンバーさんがとても楽しそうに参加されている姿を見る事が出来、今後の励みになりました。

いつか皆で一つの場所で集まり、お祝いできる事を楽しみにしています。　（出会いの場Leo 溝尻　博子）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

夢工房では、映える飾りとケーキづくり、みんなの笑顔でポレポレの誕生日のお祝いをしました。折り紙で飾り物をおり、花を開き、ノリづけをしたり、たくさんのパーツづくりでしたが、あっという間にできました。「ポレポレのみんなが喜んでくれるかな？」そう思いながら出来上がった時のみんなの喜び、一緒に創り上げることができ本当に楽しそうでした。また、ポレポレのみんなの顔や声が聞こえると、「あ！〇〇ちゃん」といっぱい手を振って呼びかけ、久しぶりの元気な姿に感動している様子でした。久しぶりに、各拠点がつながり、一つの目的をもって取り組めたことで気持ちもつながったように思います。また、オンラインはそれぞれの状況がダイレクトに理解できるので、これからもつないでいきたいと思います。　（夢工房　山本眞理子）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「出会いの場ポレポレお誕生会」はリモートでの開催でしたが、初の試みの中でもメンバーの皆様はいきいきと楽しそうにされており、一緒に歩んだ20年という時間に改めて誇らしさを感じることができました。次の20年も色々なことを一緒に経験しながら、一緒に歩んでいけると嬉しいです！本当におめでとうございます。　（西部障害者基幹相談支援センター・相談支援センターカリブ）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

各拠点で飾り付けをしたケーキの紹介です（40センチ×50センチぐらいの大きなケーキをつくりました）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

## 『退職のご挨拶　　上村 千尋さん』

出会いは３０年前。久留米養護学校に赴任してからの長いお付き合いになります。そして「共に生きる場を拓く会」から「ポレポレ」へ。（この歴史を書くには日数がかかるので割愛します）（笑）あっという間でした。この度ちょうど２０年の区切りで退職を決心しました。３、４年前から両親の事で介護休業を繰り返し、休む事に法人も快く承諾していただき何とか頑張れていましたが…。今きちんと向き合う時なのかなと思い、コロナも追い討ちをかけた感じですね。

私の人生の始まりから付き添ってくれたように、今度はここで学ばせていただいたたくさんの事や保護者のメンバーへの愛情を見習い、両親の人生の終わりにボチボチと付き添っていこうかなと思っています。

余談ですが、父は長年年賀状のやり取りをしています。今回の入院をきっかけに往復書簡を出し、応援メッセージの返信をいただきました。60年来の友人の中には、封書で下さる方もいて父の歴史を垣間見る事ができました。これはおススメです！！

本当に長い間ありがとうございました。メンバー、保護者、スタッフの皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。